



シャクシャインは、どんな人だったの



えぞち しんりやく わじん
蝦夷地に 侵略 してきた和人と戦った、アイヌ民族
えいゆう
の英雄だよ。

シャクシャインが歴史に登場するのは、1648年に、アイヌ民族の内部で、争いがあつたときからです。この年、漁やりをする場所の争いから、シベチャリ(静内町)地方の副首長シャクシャインが、ハエ(門別町)地方の首長オニビシの部下を殺したため、戦いが始まりました。1653年、シベチャリの首長が殺されると、シャクシャインが首長になり、1668年にオニビシを殺しました。

まつまえはん 松前藩が蝦夷地に進出した

このころの松前藩は、アイヌが支配する地域(蝦夷地)のあちこちに商場(交易所)を設け、そこで交易する権利を、家臣に知行(給料)としてあたえていました。また、シベチャリ川のおくちでは、砂金をとっていました。オニビシ側は、松前藩に武器・食糧の援助を頼み、ことわられました。2度めの使者が、帰るとちゅうに病気で死ぬと、松前藩に毒殺された、といううわさが広がりました。

戦いをはじめたが、敗北した

こういう状況の中で、シャクシャインは、ほかの地域のアイヌにもよびかけて、1669年6月に、和入・松前藩との戦いを始めました。2000人余りが参加して、商船19隻をおそい、和入272人(355人説もある)を殺しました。江戸幕府の応援を受けた松前軍は、初めは苦戦しましたが、しだいにシャクシャインを追いつめました。10月には、うその和ぼくをして、シャクシャインを酒の席に招いて殺し、彼のとりでを焼きはらいました。その結果、アイヌ軍は敗北しました。

今では、シャクシャインはアイヌ民族の英雄として、静内町の真歌公園に、銅像や記念館が建てられ、毎年9月23日に、法要祭が行われています。

ことばの意味 和入 アイヌ民族や中国人が使った、日本人に対するよび名。